

「川辺中学校の清水磨崖仏に関する課題解決学習の取組」

1. 学校名	南九州市立川辺中学校
2. 学年・人数	第1学年 87人
3. 日時・場所	(1) 課題解決学習（講義） 令和7年6月2日（月曜日） 15:20～16:10 (2) 課題解決学習（見学） 令和7年6月4日（水曜日） 9:00～9:30
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	名称 鹿児島県指定文化財（史跡）清水磨崖仏（きよみずまがいぶつ） 場所 鹿児島県南九州市川辺町大字清水字薬師ノ下 時代 平安時代後期～明治時代 特色 清水川右岸の高さ約20m、長さ約400mの屏風のように切り立った溶結凝灰岩の岩壁に、五輪塔や宝篋印塔（ほうきょういんとう）、梵字、仏像など200基以上が彫刻されている。（南九州市文化財課パンフレットより）
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	南九州市文化財課の新地浩一郎氏より、事前に講話をしていただいて、学校周辺の歴史や川邊氏の史跡、岩屋公園の周辺の史跡、そして、磨崖仏について事前に学習をした。 現地では、講話をもとに現地での実地で説明を受け、清水磨崖仏の特色について、実物を見学しながら説明を受け、理解を深めた。
6. 取組の様子（研究発表等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>事前学習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>事前に講話をしていただいたことをもとに、現地で説明をしていただいたことで、より理解が深まった。また、遊歩道の植物や生物、河川の危険や安全面についても学ぶ機会を設けて、多面的に学習する機会となった。</p> <div style="text-align: right;">  <p>現地での見学学習の様子</p> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	(生徒感想) 今回見学に行って、磨崖仏について興味を持ちました。当時の人々が、どのような思いをもって作ったのか、知りたいと思いました。また、大分にも磨崖仏があるそうなので、そちらの方も調べてみたいです。 (教員) 現地で見ることによって、大きさや質感を感じることができた。どのようにして彫刻したのか、現地に行くことで新たな疑問が生まれた。